

春闘勝利に向け 届け神戸地本の熱意！！

第27回地本委員会開催

三月四日、学校厚生会館において、春闘勝利に向け分会から集まった檄布が壁一面に貼られた会場で、JR西労組第27回神戸地本委員会が開催され、地本委員、来賓、傍聴者、執行部を含めて一五〇名が集まった。議長には、神戸支部新神戸運輸分会の木村議長を選出し地本委員会を開始した。来賓には、浜野よしふみ参議院議員、中央本部から荻山委員長、羽野企画部長、白壁組織部長、森川組織業務次長、新倉青年女性委員長をお迎えした。

冒頭、川原委員長から安全確立の取組のなかで死亡労災が今年度三件も発生している。労働組合の強みである現場の実態を正確に会社に伝えることが重要だと考えている。安全は現場から作り上げる思いを持って取り組んでいただきたい。

春闘については、過去最高の営業収益、利益を確保できたのも、災害対応や復旧などに、ご尽力いただいた組合員による努力の結晶であるので、ベアと年間臨給に徹底的に拘って取り組みたい。

将来を見据えた業務課題については、今後人材確保が最重要課題であり、業務の見直しなど課題が多くある。駅の業務体制は大幅な変化が予想され、その他の施策等についても神戸地本として現場の意見を聞きながら会社と議論を進めていきたい。

組織については、組織の成長なくして西労組は成り立たない。成長するために、変化なくして進化するをモットーに、変化を恐れずこれからの西労組神戸地本を築いていきたいと考える。

政治については、信頼信用できる議員を当選させ働く者の代弁者として意見を言える栗山議員のような議員の必勝に向けて取り組んでいきたいなど、五点にわたった挨拶がありました。



続いて来賓を代表として中央本部荻山委員長より、安全確立の取り組み、2019年春季生活闘争と働き方改革の推進、信頼されるJR西労組運動の強化と民主化闘争への支援、政策課題への対応と政治参加の推進、の4点にわたってご挨拶をいただきました。

執行部による運動の総括、当面する活動方針案の提起の後、質疑応答は三名の委員より三九項目の質疑がありました。主な質疑は、安全や春闘、諸課題についてであり、活動方針に肉付けが行われた。その後、大内書記長から熱のこもった総括答弁があり、最後は川原委員長の力強い団結ガンパローで組合員と意思を一つに固めました。

